

**斉藤** 新島と同じ日になっちゃったからその影響もあるんじゃないかな。子どもはみこしより山車の方がいいのかもね。

**小川** 子どもがみこしを担ぎたがらないそうですが、東町の場合は競争ですよ。みんな担ぎたくってしようがないみたい。親は交通整理にまわってね。

**大澤** 古川には「うかれ傘燈」っていうのがあるんですが、これが舞台になったり、はやしにのせて回したりできるようになってるんです。ほかの地区のみこしや山車の代わりで、大人も子どもも関係なく参加できるように工夫しています。古川に住んでいる人の出身地は、全国に散らばっていて習慣も違いますので、思い切って古川独自の祭りを作ったんです。「古川音頭」もそんな思いが込められているんですよ。

**市原** 本町の山車は、子どもとお母さんたちで引いてくれるんですが、ある程度高学年になるとみこしに移るんです。ですから山車を引く子どもが少なくて、大人が引いてるって感じになっちゃうんです。清水で山車を出そうかっていう話がありましたけど、人を集めるのが大変ですからねえ。ある程度になると、どうしてもみこしを担ぎなくなっちゃうんですね。だから二日間で、一日はみこし、一日は山車っていう案も出たんですが、結局は両方になりました。華やかなほうがいいですもんね。

**実川** うちの方にも古い山車があるんですが、子どもたちで引くのは大変です。今年も盆踊りに使ったあとどうしようかっていう話が出てるんです。汗を流して引くからいいんですけど……。



◀ カレーうどんの早喰い競争とはいっても愛する妻との二人羽織 (演芸会場で)



▲ 手づくりとは思えない立派なみこし (新島)

